様式第二

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

|  |  |
| --- | --- |
| 宅地造成及び特定盛土等規制法第12条第１項第30条第１項の規定により、許可を申請します。　　　　年　　月　　日安芸高田市長　様 | ※手数料欄 |
| 申請者　氏名 |  |
| 連絡先 |  |
| １ | 工事主住所氏名（法人役員住所氏名） | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２ | 設計者住所氏名 |  |
|  | 連絡先 |
| ３ | 工事施行者住所氏名 |  |
|  | 連絡先 |
| ４ | 土地の所在地及び地番（代表地点の緯度経度） | （緯度：　　度　　分　　秒 、 経度：　　度　　分　　秒） |
| ５ | 土地の面積 | 平方ﾒｰﾄﾙ |
| ６ | 工事着手前の土地利用状況 |  |
| ７ | 工事完了後の土地利用 |  |
| ８ | 盛土のタイプ | 平地盛土　・　腹付け盛土　・　谷埋め盛土 |
| ９ | 土地の地形 | 渓流等への該当　有・無 |
| 10　工　　事　　の　　概　　要 | イ | 盛土又は切土の高さ | ﾒｰﾄﾙ |
| ロ | 盛土又は切土をする土地の面積 | 平方ﾒｰﾄﾙ |
| ハ | 盛土又は切土の土量 | 盛　　土 | 立方ﾒｰﾄﾙ |
| 切　　土 | 立方ﾒｰﾄﾙ |
| ニ | 擁壁 | 番　号 | 構　造 | 高　さ | 延　長 |
|  |  | ﾒｰﾄﾙ | ﾒｰﾄﾙ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ホ | 崖面崩壊防止施設 | 番　号 | 種　類 | 高　さ | 延　長 |
|  |  | ﾒｰﾄﾙ | ﾒｰﾄﾙ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ヘ | 排水施設 | 番　号 | 種　類 | 内法寸法 | 延　長 |
|  |  | ｾﾝﾁﾒｰﾄﾙ | ﾒｰﾄﾙ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ト | 崖面の保護の方法 |  |
| チ | 崖面以外の地表面の保護の方法 |  |
| リ | 工事中の危害防止のための措置 |  |
| ヌ | その他の措置 |  |
| ル | 工事着手予定年月日 | 年　　　　月　　　　日 |
| ヲ | 工事完了予定年月日 | 年　　　　月　　　　日 |
| ワ | 工程の概要 |  |
| 11 | その他必要な事項 |  |
| ※受　付　欄 | ※決　裁　欄 | ※許可に当たつて付した条件 | ※許可番号欄 |
| 年　　月　　日 |  |  | 年　　月　　日 |
| 第　　　　　号 | 第　　　　　号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |
| 〔注意〕 １　※印のある欄は記入しないでください。 ２　申請者、１欄の工事主、２欄の設計者又は３欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 ３　１欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 ４　２欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。 ５　３欄は、未定のときは、後で定まつてから工事着手前に届け出てください。 ６　４欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従つて測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 ７　８欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。 ８　９欄は、渓流等（令第７条第２項第２号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。 ９　11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。 |